

Affiliated with the International Association
THE Y'S MEN'S CLUB OF TOKYO HACHIOUJI
Chartered October 30, 1994



〒 194-0211
東京都阿田市相原 1857
長谷川 あや子 TEL : 042-771-6962
FAX : 042-771-6962
E-mail : ayako.h3@nifty.com

2015 年 7 月

第241号

The Service Club of The YMCA

東京八王子 ワイズメンズクラブ

会 長 長谷川 あや子
副会長 中塚 辰生 望月 隆珉
書 記 山本 英次
会 計 小口 多津子
林外会長 大久保 重子
担当主事 鳩山 徹郎
ブリテン 山本 英次・茂木 稔
大久保 清
直前会長 久保田 貞視

国際会長主題 Wichian Boornapajorn(タイ) 「信念のあるミッション」
スローガン: "Count Your Blessing" 「恵みを数えよう」
アジア地域会長主題 Edward K. W. Ong (シンガポール) 「愛をもって奉仕をしよう」
スローガン: "Let it Begin with Me" 「まず自分から始めよう」
東日本区理事主題 渡辺 隆 (甲府): 「原点に立って、未来へステップ」
"Stand at the origin and take a step for the future"
あずさ部部長主題 標 克明 (甲府) 「ワイズメンとして一歩前進」
クラブ会長主題 長谷川あや子 (八王子) 「若い人の成長を願い、ともに歩む」

7月例会プログラム (キックオフ例会)

日時: 7月11日 (土曜日) 18:00~20:00

場所: 北野事務所 2階大会議室

(担当班A班 小口、長谷川、中塚、仲田、山本、鳩山)

受付: A班 中塚

司会: 山本

開会点鐘

ワイズソング

ワイズの信条

ゲスト・ビジター紹介

新旧会長引継ぎ式

新年度会長挨拶

聖書朗読・食前の感謝

会食

卓話 「八王子銘菓 松姫最中と徳川家康」

日野市役所新選組特命主幹 芸術担当 村瀬 彰吾 氏

「新選組のふるさと歴史館」館長

スマイル

ハッピーバースデー

報告・連絡事項

閉会点鐘

長谷川会長

一 同

一 同

長谷川会長

新旧会長

長谷川会長

小 口

中 塚

長谷川会長

会長、各担当

長谷川会長

巻頭言

クラブ会長就任にあたって

会長 長谷川 あや子

昨年度は久保田会長の強力なリーダーシップのもと、クラブ設立20周年記念事業を成功させ、又日頃の活動も評価されて理事表彰「優秀クラブ賞」を受賞いたしました。設立より20年、どの年も会長を中心に精一杯歩んできたと思います。地元でYMCAのない八王子クラブにとって、あらゆる機会をとらえ若い人に働きかけるのは使命ですが、ともに働き感動を分かち合っこそ喜びがあり、若者も私達も成長させて頂けるのではないのでしょうか。今年度の会長主題を『若い人の成長を願い、ともに歩む』といたしました。今から15-6年前は「八王子クラブといえば街頭募金」と云われるくらい、世界で大災害があるとすぐに緊急支援街頭

先月の例会ポイント (6月)		BFポイント	
在籍	20名	切手 (国内・海外)	50g
メン	15名	累計	495g
メイキャップ	1名	現金	0円
出席率	80%	累計	0円
メネット	4名	スマイル	19,194円
ゲスト	1名	クラブより補てん	806円
ビジター	4名	(ネパール大地震支援金	20,000円)
ひつじぐも	4名	累計	160,779円
		オークション	0円
		累計	73,450円

(聖 句)

「平和の源である神は間もなく、サタンをあなたがたの足の下で打ち砕かれるでしょう。わたしたちの主イエスの恵みが、あなたがたと共にあるように。」(ローマ人への手紙 16章 20節)

募金に立ち上がったものでした。1999年の台湾地震、2001年のエルサルバドル・インド西部地震の時は京王八王子と北野駅二ヶ所に立ちました。佐藤絵里子さん（現在は柳原）が話しかけて下さり、それがきっかけとなり現在の中大学Yとの交流に至っています。クラブ例会への参加、街頭募金、チャリティコンサートの奉仕・年を追うごとに交流が深められました。昨年より中大学Yナイトも始まりました。これからもともに成長できるような内容に育てていきたいと思えます。八王子にはYMCAの拠点がありませんが、多摩地区として国立に西東京コミュニティセンターがあります。ボランティアリーダーの報告会やファミリークリスマス、チャリティランの応援など今年は是非大勢で出席したいものです。交流あつてのサポートです。“喜んで参加”しましょう。八王子クラブは設立当初からメン、メネットが協力してまいりました。例会への出席、CS活動一特にディサービス鑑水での奉仕活動はメネットとメネットの友人の方々を中心に毎月行われています。20年の歴史の中で最も長く継続しているCS活動です。深く感謝申し上げます。チャリティコンサートも地域に定着し、開催を楽しみに待つて頂けるようになりました。第18回も暖かいコンサートに致しましょう。そして課題は会員増強です。どんな良い計画も活動も会員数がなければ成り立ちません。是非ご友人、知人を誘って下さい。IBC・DBCの交流も一年ごとに成長しています。それぞれ健康に気を付けていつまでも楽しい交流ができますように。一年間どうぞよろしくお願ひいたします。

第18回東日本区大会に出席して

久保田貞視

第18回東日本区大会は、6月6日（土）・7日（日）厚木クラブのホストで厚木市文化会館及びレンブラントホテルで、431名の参加者により盛大に開催されました。当クラブからは長谷川さん、小口さん、茂木さん、中塚さんに久保田が出席しました。今回の特徴は、厚木市と厚木市教育委員会が共催として参加し、厚木市長や厚木市教育長も出席され、地方行政と協働での大会となったことです。

6月6日の午前中は、年次代議員総会、メネットアワー、担当主事会、ユースの会が開催され、代議員総会にはクラブ会長が、ユースの会には小口さんと中大ひつじぐもOBの藤永君が出席しました。オープニングセレモニーは白龍太鼓で始まり、バナーセレモニーでは各部長・会長が各バナーを掲げて入場し、田中博之理事の開会宣言となりました。来賓祝辞は日本YMCA同盟の島田総主事、西日本区松本理事に、共催者として小林厚木市長の歓迎の言葉がありました。東日本区アワーは通常のスタイルで、理事年次報告、年次代議員報告があり、パワーポイントを使用しての事業主任報告、部長報告、メネット委員長報告と続きました。講演は、神奈川工科大学先進技術研究所の山本圭治郎所長が「ロボットのチカラ」として最新のロボットの機能を映像と実

物のロボットを使つての説明がありました。

分科会は地域奉仕、会員増強、国際・交流、ユースに分かれて開催、自分は国際・交流部会に参加し、「八王子・台湾高雄ユース交流オーケストラ」について一部始終をパワーポイントで報告しました。岡野アジア地域会長ほか、西日本区のワイズも参加、IBC、ユース、地域奉仕に繋がるイベントであり、好評でした。晩餐会は、レンブラントホテルに移動し、歓迎挨拶、来賓として岡野アジア地域部長が挨拶し次期理事の渡辺隆ワイズによる乾杯で始まりました。予め決められた座席で楽しい交流の時間を過ごしました。晩餐会終了後は、富士五湖クラブのメンバーに連れられて近くの居酒屋で午後11時過ぎまで親睦を深めました。大阪西クラブの井上ワイズも同席。八王子在の息子さんは同じ住宅地です。

7日（日）は聖日礼拝に続いて、表彰式があり、当クラブは、理事表彰の優秀クラブ賞を大会開催クラブの厚木クラブとともに受賞しました。そのほかにも、インビテーションキャンペーン最優秀クラブ賞、インビテーションキャンペーン最優秀個人賞を中塚ワイズが受賞、IBC交流優秀賞他総ての献金での達成賞を受領しました。ただ、ユース事業について中大ひつじぐもとの緊密な協働関係は、東日本区唯一にも拘わらず十分理解してくれていないのが残念でした。

そのあと、理事引継ぎ式は田中理事（東京クラブ）から渡辺次期理事（甲府クラブ）に引き継がれ、渡辺次期理事の所信表明と次期役員との紹介がありました。

閉会式は厚木クラブ会長の挨拶があり、田中理事の閉会点鐘で大会は幕を閉じました。帰りは、長谷川さん、中塚さんに東京武蔵野多摩の宮内さんと4名で静かな場所を探しご苦労さん会の昼食を取りました。

理事表彰 優秀クラブ賞を受賞して

今回、優秀クラブ賞ではあるが、実質、最優秀クラブ賞と説明され、壇上で受賞しました。最優秀クラブ賞は過去に、調会長、中塚会長の時にも受領していますが、しばらくこのような表彰を受けていないため、感慨も一入でした。受賞の理由として「クラブ設立20周年を機に、IBC、行政の連携によって「八王子・台湾ユース交流コンサート」を企画・開催し、国際交流、ユース支援、地域奉仕の各面で大きな成果があり、ワイズのPRに繋がった。チャリティコンサートの開催も17回を数えている」と記載されています。しかし、この1年間、加齢は進んでいるもののクラブの全員がワイズの信条を実施して、設立20周年記念例会、東京インターナショナル・チャリティランへの西東京センター障害者チームの派遣、中央大学ひつじぐもとの密接な関係、東京YMCA諸事業へ積極参加、あざさ部内でも富士山例会はじめ各事業への参加、例会の充実など多くのメンバーに支えられて活動できたこと心から感謝申し上げます。優秀クラブ賞はメンバー皆の事業への積極的参加を評価されたものです。



優秀クラブ賞 東京八王子 インビテーションキャンペーン
最優秀個人賞 中塚辰夫さん

クラブ創立20周年を機に、IBC、行政との連携によって「八王子・台湾高雄ユース交流コンサート」を企画・開催し、国際交流、ユース支援、地域奉仕の各面で大きな成果があり、ワイズのPRにも繋がった。チャリティーコンサートの開催も17回を数えている。

インビテーションキャンペーン、最優秀個人賞を受賞して

中大学Y・ひつじぐも担当/中塚辰生

八王子クラブ例会並び諸行事に、中大学Yメンバーの出席者を、昨年7月～12月の上期は、直前ワイズ係、井上なるみさん(2年→3年)に、今年1月～6月の下期を現ワイズ係の佐藤克彦君(1年→2年)に、中大学Yメンバーへの出席要請アピールと出席者の取り纏めを、お願いしてきました。お二人とも、私からの毎月の例会出席者並び諸行事への参加要請に対して、中大学Yメンバーリストで、出席者を募り、更に個別に出席勧誘をする等のご尽力を戴いています。

毎回の例会には、必ず数名が出席、クラブ20周年例会及びクリスマス例会には、10名以上が出席、特に2014年10月例会を、「中大学Yナイト」として、インド・チェンナイ国際大会のIYCに参加した、藤永君、岡本君の2名によるIYC報告及び運営を、クラブ会長以外の役を全て学生に委ねて、例会を実施した。今後、毎年10月例会は中大学Y・ひつじぐもに運営をお願いする事にした。

その他、3月に実施した、東日本大震災支援・地雷廃絶のための街頭募金を(JR八王子駅前)実施、同じく「第17回東日本大震災支援・地雷廃絶のためのチャリティーコンサート」を実施、またこれまで、15年に亘り、中大学Yとの連携は継続しているが、3年前より、中大学Y・ひつじぐもの新入部員、歓迎行事として、高尾わくわくビレッジでの草刈りと、その後のBBQ昼食歓迎会を5月に実施し、それぞれ、八王子クラブと中大学Yとの協働を良く理解され、20名前後のメンバーが参加してくれている。

各月例会、諸行事の出席者数は、下記の通りです。

2014年7月キックオフ例会：7名。8月は直前会長感謝会のため招集せず。9月例会：2名。10月中大学Yナイト例会：14名。同10月クラブ20周年記念例会：10名。11月例会：6名。12月クリスマス例会：10名。2015年1月例会：4名。2月メネットナイト例会：2名。3月街頭募金：4名。3月「第17回チャリティーコンサート」：10名。3月例会：3名。4月例会：6名。5月中大学Y・ひつじぐも新入部員歓迎行事：高尾わくわくビレッジ草刈り&BBQ昼食歓迎会：20名。6月例会：4名。[延べ102名]

久保田会長はじめ、八王子クラブメンバー皆様のご協力と、中大学Y・ひつじぐもワイズ係の井上なるみさん、佐藤克彦君のご尽力、並びに八王子クラブ・中大学Yとの『協働』を理解され毎月の例会並びに各行事に出席下さった中大学Y・ひつじぐもメンバー皆様のご協力で、皆様を代表して中大学Y担当の私が表彰を受けた次第です。

7月以降の新しい期もクラブ長谷川会長、クラブメンバーの皆様、中大学Y・ひつじぐもワイズ係並びにメンバーの皆様、引き続き八王子クラブと中大学Y・ひつじぐもの連携の更なる強化に向けてご協力をよろしくお願い申し上げます。

例会卓話「新渡戸稲造と台湾の話」を聞いて

茂木 稔

極めて最近のことに新渡戸稲造の「武士道」(矢内原忠雄訳)を読んでみたものゝ、大変難解な文章で理解出来ない部分も沢山ありました。その新渡戸氏の話とあって今回の東京むかでクラブ会長、森本晴生氏の話で大いに期待して聴きました。また、同氏は現在も新渡戸文化学園長をされ、教育界で活躍されています。

稲造の学んだ札幌農学校は明治8年に開設され、それは旧東京大学より1年早い設立なのです。そして彼は明治9年二期生として入学し、同期には内村鑑三がおりました。同学校は120名の入学者で官費生60人と私費生60名であり、卒業までには約半数の人数になったそうです。それ程学業に厳しかったのです。

お話をされた森本氏のおじいさんが、この学校で稲造と一緒に学んだ方であるとは、全く面白い巡り合わせです。なお、クラーク博士は札幌農学校の教頭という肩書きですが、実質は校長であつたと言われます。しかし、二期生の彼は直接に彼には学んでいないと考えられます。クラーク博士は開校して1年しか勤務しなかったのです。

彼は後年札幌農学校の教授になりましたが、彼が農学校卒業生として本来の業務に就いたのは、台湾総督の同じ岩手県出身の後藤新平に頼まれて、台湾の農業振興のために砂糖の原料の蔗糖の増産に務め、ハワイから優良品種を手して台湾に広め、大いに生産性を高め農民の生活向上の

農政を行いました。しかし、その台湾の仕事も3年ほどでした。

ところで、彼がロス・アンジェルスで書いた「武士道」ですが、その発端となったのはベルギーの法律家、ド・ラヴレー氏の「貴方の国の学校には宗教教育はないとおっしゃるのですか」との問いに「ありません」と答えると「宗教なし！ どうして道徳教育を授けるのですか」との言葉に対し、即答できなかったことと、彼のアメリカ人の奥さんの質問に答えようと書かれたものであった。

彼は後刻、国際連盟の事務次長となり活躍したが、彼がその時に設立した「知的協力委員会」が、後にユネスコに受け継がれて生みの親と言われます。国内にては一高の校長も経験し、日本の教育の礎を築いた人物と言っても過言ではないでしょう。今回の卓話は実に内容のある素晴らしいものでした。

森本氏卓話風景



6月第1例会に出席して

中大 ひつじぐも 3年 板橋 愛

6月13日のワイズ例会には、4人の中大生が参加させていただきました。卓話は新渡戸稲造と台湾についてということで、5000円札でお馴染みの新渡戸稲造について伺いました。私はあまり新渡戸稲造について詳しくはありませんでしたが、卓話者である森本さんの新渡戸稲造に対する愛が伝わってくるような、大変詳細かつ興味深いお話でした。

新渡戸稲造といえば、著書である武士道が有名であるかと思えます。今回の卓話で、武士道は、当時日本人が当たり前だと思っていたことを書き起こしたものだといいました。自分たちにとっての「当たり前」を分析し、文に起こし、さらには英文で発行したというあたりに、新渡戸稲造の類い希なる才能を目の当たりにしたような思いでした。

また新渡戸稲造は、YMCAとも関わりがあり、東山荘建設に関係しているそうです。およそ100年経った今、偉人のひとりでしかなかった新渡戸稲造の功績の恩恵を受けているというのは、感慨深いものがあります。人の縁とは分からないものであるとつくづく感じました。

今回は、ワイズ例会を通じて知り合えた方々との縁、時間の概念すら飛び越えた新渡戸稲造との奇縁を大切にしたいとしみじみ思う例会となりました。

地雷廃絶日本キャンペーン会員総会に出席して

久保田貞視

6月17日(水) 特定非営利法人地雷廃絶日本キャンペーン(JCBL)の第6回会員総会がクリエイティブ One 秋葉原6階のJVC会議スペースで開催されましたので団体正会員として出席しました。当クラブは18年前からチャリティコンサートを開催し、寄付を継続していますが同時に団体正会員として会費を納入しています。

まず、北川代表の挨拶があり、目加田理事が議長になり審議に入った。審議事項として2014年事業報告及び会計報告、2015年度事業計画及び予算について報告があり承認されました。

事業報告の活動項目は、1)地雷・クラスター爆弾の禁止を実現するためにオタワ条約及びオスロ条約非締約国に対して早期加盟の働きかけを行う事業として①条約普遍化促進運動②ちようちよキャンペーンの実施(今期からリズムネットワークに移行) 2) ICBL/CMC参加のNGOと協力して地雷・クラスター爆弾対策を進める事業として①犠牲者支援事業(トイレも改善) 3) 条約が定める要措置事項について、日本政府の実施状況(国際協力、犠牲者支援の実施等)をモニターにして、日本政府にアドバイスするとともに ICBL に報告する事業として①日本政府への政策提言②ICBL/CMCへの日本政府の地雷・クラスター爆弾対策等に関する情報の報告、4) クラスター爆弾への投資禁止キャンペーン「私のお金、私の責任：貯金・年金・クラスター爆弾」新しいレポートの発行にともなうプレスリリースの配信。

今期はメッセージ入りのTシャツを作成・販売して世論を喚起するので購入してほしい。5)地雷・クラスター爆弾の問題について日本国内において周知させるための各種啓発事業として①シンポジウム等イベントの実施②イベントへの参加③講師派遣(昨年度は12件中、当クラブへは設立20周年記念講演に目加田理事とチャリティコンサートに内海理事)④会報の発行3回で各600部⑤プレスリリースの発行。6) 各国のキャンペーン団体と協力して地雷対策を行う事業。

会計報告では会費と寄付金だけで助成金が無い状況で極めて厳しく職員は週1回のみでの採用で事業はボランティアが実施し、改善策を検討中。

終了後、懇親会が近隣の中華料理店で開催され、北川代表、目加田理事(中央大学教授)、清水理事、内海理事等と種々課題について話し合いました。

総会は毎年開催されており、活動状況を知る意味でも、当クラブは団体会員であり大口寄付者として毎回、クラブ会長のご出席を望みます。

NPO法人東京多摩いのちの電話について

多河 敏子

6月6日、府中駅前のけやきホールで多摩いのちの電話の講演会があり、柳田邦夫氏のお話でした。氏は1936年、栃木県生まれのノンフィクション作家。現代に生きる人間のいのちや心の危機について、災害、事故、公害、病気、事件などの現場を歩き、当事者の体験に耳を傾けて、作品を書き続けて来られたとの事、「悲しみは真の人生の始まり」「言葉が立ち上がる時」などの著作があるそうです。

この日、久保田佐和子さんと佐和子さんの友人も出席しており、友人の方はこの会のメンバーでもあるそうです。久保田会長も出席を予定されていましたが、他の会合と重なり急遽私が代わりに出席させていただきました。

八王子クラブのクリスマス例会でのスマイル（献金）は毎年多摩いのちの電話への寄付金です。

私は今回までそれ以上の詳しい事は何も知りませんでした。多摩いのちの電話相談は命に関わることや家庭内暴力など様々な相談があり、聞くことが辛くボランティアの中でも本当に難しいボランティアだという事を初めて知りました。

全国49センターの「いのちの電話」では、厚生労働省自殺防止対策事業の補助金を受け、フリーダイヤル「自殺予防いのちの電話」を実施し24時間相談出来るとの事です。電話相談員がボランティアとして活動するには1年半の研修を終え最後に相談員としての認定を受けなければならないそうです。東京多摩いのちの電話では次のような事を呼びかけています。

変化の激しい現代社会、困ったり不安になったとき、誰にも相談できず悩んでいる人が数多くいます。また、苦しみ、自殺に追い込まれる人も大勢います。このような人たちが、電話で話すことにより、再び生きる勇気を見出していかれるよう、よき隣人であることを願いながら「いのちの電話」は世界中のいたるところで活動しています。

[東京多摩いのちの電話]は、日本における「いのちの電話」のひとつとして、1985年6月に開局し、無償のボランティア相談員が年中無休で、今までに45万件余の無料の電話相談を受け、弁護士による法律相談も受け続けております。

開局の一年後に「日本いのちの電話連盟」に加盟し2001年から厚生労働省補助事業「自殺予防いのちの電話」に参加し、毎月10日に24時間体制で相談活動をしています。皆さんの積極果敢なチャレンジを期待していますとの事でした。<http://www.tamainochi.com>

いのちの電話の財政状況も決して豊かでは無いと知り、帰りに心ばかりの献金をさせて貰いました。



ひつじぐも新入生挨拶

1年 佐藤 千紘

「ひつじぐも」に正式入会してから早くも一ヶ月が経ちました。私がひつじぐもに入ろうと決めた理由は二つあります。

一つ目は「成長」のため。私は中学時代生徒会に所属しており、活動の中で様々なボランティアを経験しました。一方、高校時代はボランティア活動をする機会が殆どありませんでした。そんな中、高校卒業時に今までの過去を振り返った際、ボランティア活動をした中学時代とボランティア活動をしなかった高校時代を比較して、中学時代の方があらゆる面において成長できている自分に気付かされました。辛いこともありましたが、壁があったからこそ自分が成長できていたことが分かったのです。

二つ目は「後悔」のため。中学時代のボランティア活動の中で、私が唯一参加できなかった活動があります。それは、東日本大震災の避難者の方々へ炊き出しをする活動です。私はどうしても外せない用事があり、この活動に参加することが出来ませんでした。参加できなかった後悔は今でも私の中に深く残っていますが、あの時の様な後悔を二度としたくない、という思いが、再び私をボランティアの道へと誘ってくれました。

以上の理由から、私はボランティアサークルに入る決断をしました。中央大学には他にもいくつかのボランティアサークルがありますが、国内外で幅広い活動を行うところに魅力を感じ、ひつじぐもを選びました。積極的に活動に参加し成長していきたいと思っております。



YMCA 西東京便り

YMCA 西東京センター所長 鳩山 徹郎

6月があつという間に過ぎ、7月に入りました。今年の梅雨はあまり湿度が高くないように感じます。過ごしやすく快適ではありますが、例年と比較しての気候の変化は、今年少し多いように感じる地震や火山の噴火などと関係があるのだろうか、地球規模の変化を懸念してしまいます。様々な面での変革を志向する一方で、変化に不安を感じてしまうのは私だけでしょうか。

さて、6月は山中湖センターや野尻キャンプ場、赤城キャンプ場での実地リーダートレーニングを実施いたしました。多くのリーダーが参加し、楽しみながら、リーダーとして必要な思い、知識、技術を学んでおりました。

熱心にメモをとる姿、スタッフの話に必死に耳を傾ける姿、リーダートレーニングに参加して変化した気持ちを発表する姿など、頼もしいなど感じる場面をたくさん見ることが出来ました。彼らは、実地のトレーニングに加え、東京で開催される概ね週一回のリーダー会に出席し、まさにYMCAに身を捧げて子どもたちや障がい児・者のために奉仕します。自らの意思によって、アルバイトをして対価を受け取る中でも、勉学に勤しみ単位を取得する中でも得ることの出来ない、普遍的な価値に触れることでしょう。

「わたしたちは見えるものではなく、見えないものに目を注ぎます。見えるものは過ぎ去りますが、見えないものは永遠に存続するからです」(コリントの使徒への手紙2:18)

高度経済成長期を経て、目に見えて物質的に豊かになった代償として、私たちは目に見えないものを軽視してしまっているかもしれません。奉仕活動、ボランティア活動を通して、YMCAに関わる様々な方々が、改めて「目に見えないもの」を見つめ直すことが出来ればと願います。今月もお支えをお願いいたします。

中大・学Y便り

硝子戸の外

4年 梁取 直也

ワイズの皆様、先日は新入生の歓迎を兼ねての草刈及びBBQに参加させて頂き有難う御座います。やはり自然と触れ合うのは心身共に良いことのように思われます。最近はず論や就活に疲れると、公園に行くのが常となっています。相模原公園の菖蒲祭りに立ち寄ったり、道保川公園の螢が放つ光に付いて行ったりしています。出不精の私ですらも外に促してくれる暖かさのおかげです。

病気がちだった頃の漱石の著書に『硝子戸の中』という随筆があります。私の場合は出不精が高じると、硝子戸を開け放ち、そこから身を乗り出して外界との接点を求めます。

雪が降ってくると飽きずに済みます。煙草を喫みながら一句「雪解けの 刹那に残る 静寂かな」。手帳に書かれたその句を見付け、積もった雪の白さを思い出しました。具体的な物を例に挙げれば、その雪と同等の白さを説明することは出来るが、その白さとその雪をどうにも結びつけることができないことに思い当たると、既に冬が恋しくなってきました。

一瞬の静けさを残して融け出た水は相模川と出会います。ジャケットが薄くなる頃に彼がその身を任せていた場所は、桜と芝桜で人々を楽しませていました。芝桜の花弁は風に舞い、桜のそれと頬を触れ合います。桜の花弁は芝桜の絨毯目掛けて、ひらひらと踊っています。彼がそこにいる間は、その風景は永遠の力を得ていました。

すっかり強くなった陽気が彼を誘い、空気を濡らし始めると螢が一匹また一匹と愛の信号を送り始めます。彼は螢の羽を濡らさない様に気を付けながら、まばゆいとは言えないが確かな生を感じさせる光が人々の心に波紋を起こさせる様に見とれます。求愛のための光ではなく、愛するもの同士が愛を確かめ合うために発するそれに変わるのを見届けると、彼は私の元に戻って来ました。

勿論、グラスの半分まで飲んだ、アイラ島で産まれたラフロイグと共に、私をその独特のピート臭に包まれた夢へと導くためです。

(お 話)

今は「戦争法規」と緋名される法規を国会で今期中に成立させるため、政府は9月いっぱい会期を延長するといった異例な熱を入れていきます。戦後70年に及ぶ平和憲法の看板を明らかに塗り替えるのに驚くほどの執念を政府は燃やしています。

パウロは私たちの信じる神を「平和の源である」と称しています。その恵みに浴していたのに、戦いの悪魔に明らかに乗り換えようとしているのです。私の生きている間にそんな乗り換えを見ようとは思いませんでした。

私にとっては気遣い沙汰としか思えませんが、皆さんにはどうなのでしょう。平和の源でない神は偶像です。偶像は決して私たちを救うことができません。いくら尊崇しても神を奉っても偶像に変わりはありません。

新年度に向けて、私たちは平和の神に祈りつつ発展したいものです。

仲田達男

西東京センタースタッフ紹介



今月より、西東京センターをより身近に感じていただけますように、4か月に渡りスタッフ紹介をさせていただきます。ぜひご覧いただき、スタッフの人となりを知っていただければと思います。どうぞよろしくお願いたします。

嶋山 徹郎 (はとやまてつろう)

西東京センター勤務になってから4年目を迎えました。西東京センター館長は、高田馬場にございます山手センター館長の中塚氏が兼務しておりますので、現在、館長代理として、西東京センターをお預かりしています。

YMCAとの出会いは中学生の時、親がスキーキャンプに連れていってくれる団体を探しており、多くの団体ご訪問をさせていただきました。その中で一番、小人数で手厚く指導してそうだったのがYMCAだったようです。山手センターでメンバーとしてキャンプに参加、大学生になってからはボランティアリーダーとして活動しました。

YMCAへの入職は2005年、小田急線の経歴研にございます南センターでの勤務が始まりました。4年目からの4年間は高尾の森くわくビレッジにて勤務いたしました。地域センターでの勤務は週末の出張が多く、土曜日の例会は中々出席が叶わない場合が多々ありますが、在京時はなるべく出席し、親交を深めていきたいと願っております。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

2015～2016年度 八王子クラブ役員 (太字は委員長) 2015.7.1現在

会長	長谷川あや子				
副会長	中塚 辰生	望月 隆珉			
書記	山本 英次				
会計	小口多津子	中塚 辰生			
直前会長	久保田 貞視				
プリテン	山本 英次	茂木 稔	大久保		
Yサービス	辻 直治	久保田貞視	眞野	望月	
CS	並木 信一	小口多津子	辻	茂木	山本
EMC	多河 敏子	大久保 清	久保田	橋本	
交流	茂木 稔	久保田貞視	多河	福田	
ユース	中塚辰生	小口多津子	松本大	嶋山	佐藤
ウェルネス	茂木 稔	多河 敏子	橋本	福田	
ファンド	福田 勝江	小口	松本淑		
監事	仲田 達男				
メネット会長	大久保 重子				
担当主事	嶋山 徹郎				

- ・東日本区ユース事業委員 小口 多津子
- ・あずさ部会員増強事業主査 並木 信一
- ・2016年在京ワイズ合同新年会実行委員長 久保田 貞視

班編成 ◎は班長

A班	B班	C班
◎小口 多津子	◎久保田貞視	◎多河 敏子
中塚 辰生	辻 直治	大久保 清
仲田 達男	並木 信一	橋本 秀昌
長谷川あや子	茂木 稔	福田 勝江
嶋山 徹郎	望月 隆珉	松本 大樹
山本 英次	佐藤 信也	松本 淑子
		眞野 範一

東京八王子ワイズメンズクラブ年間行事予定 (2015～16)

2015. 7. 1現在

月	強親月間	八王子クラブ	東日本区・あずさ部
7	キックオフ	11 第一例会	10 前期半年報提出
A班	YMCA サービス	25 第二例会	11 第1回区役員会
	ASF RBM		18 第1回評議会(山手)
8	CS	8 会長感謝会	15 前期区費支払期限
B班		22 第二例会	
9	ユース	12 第一例会	11～13 ユースボランティア
A班		24(木) 第二例会	リーダーズフォーラム
		(26日を変更)	23 東京YMCAチャリティラン
			26～27 富士山例会
10	EMC/E	10 第一例会	18 (日) あずさ部部会
A班	YES	(中大ナイト)	31 次期部長・事業主任
		24 第二例会	研修会
11	ワイズ理解	14 第一例会	7 第2回役員会
B班	ファミリーファスト	21 第二例会	10 ワイズデー
12	EMC/MC	12 クリスマス例会	8 祈りの輪
C班		26 第二例会	
1	IBC/DBC	9在京ワイズ新	9 在京ワイズ新年会
A班		年会(八王子)	10 後期半年報提出
		23 オークション例会	
2	TOF	13 第二例会	13 第2回評議会(松本)
B班		27 第一例会	15 後期区費支払期限
		(メネットナイト)	
3	BF	12 第18回	5～6次期クラブ会長・
C班	メネット	チャリティコンサート	部役員研修会
		26 第二例会	
4	LT	9 第一例会	9～10 第3回役員会
C班		23 第二例会	
5	EF/JEF	14 第3回評議会	14 第3回評議会
B班		21～22 DBC	(八王子・ホスト)
		28 第二例会	
6	評価	11 第一例会	3 第4回役員会
C班		25 第二例会	4～5 第19回
			東日本区大会

(注) 2015.9月と2016.4月の担当班は別ですが順序が替わりました。

報 告

☆ 6月13日(土) 第一例会 北野事務所大会議室
 卓話「新渡戸稲造と台湾」東京むかでクラブ会長森本晴生氏
 新渡戸学園園長(幼稚園・小学・中学・高校・短期大学)
 ・東山荘100周年募金に会より3万円とする
 ・ネパール大地震支援募金の会より2万円とする
 ・会則変更について(長谷川)
 ・第18回東日本区大会表彰報告
 ・直前会長・ネット会長感謝会 8月8日(土) 17:00 ファイン
 ・8月10日(月) 町田YMCA25周年記念会 参加者募集
 ・JCB L総会6月17日(水) 19:00~20:00 クレア 秋葉原
 ・東京八王子クラブ 年間活動報告(久保田)
 参加者: 小口・酢屋・中塚・山本・長谷川・鳩山・並木・辻・茂木・久保田・多河・福田・橋本・真野・大久保
 メット: 辻・久保田・真野・大久保 ゲスト: 岡垣修武
 ビジター: 森本晴生・大田勝人・長津絹子・水戸朱美
 中大学Y: 井上なるみ・坂坂愛・佐藤克彦・佐藤千紘

☆ 6月27日(土) 北野事務所 小会議室 18:00~19:30
 ・7月7日(火) 17:30 高尾山ビアガーデン 参加者募集
 ・7月11日(土) 第一例会卓話 村瀬章吾氏
 「八王子銘菓 松姫最中と徳川家康」
 ・8月23日(日) 甲府21納涼バーベキュー大会 参加者募集
 ・8月29日(土) 東京YMCA 夏祭り 参加者募集
 ・9月23日(日) チャリティーラン 参加者募集
 ・12月12日(土) クリスマス例会 17:00より受付
 セミナー室・交友館使用 19:00より食堂
 ・2016年1月9日(土) 在京ワイズ新年会 会場確定
 ・酢屋さん7月より2年間休会 自己説明
 参加者: 多河・長谷川・小口・福田・酢屋・辻・山本・橋本・中塚・望月・久保田・茂木

キックオフ例会 卓話者紹介
 7月11日(土) 午後6~8時
 八王子北野事務所2階 大会議室にて

村瀬 彰吾 (ムラセ ショウゴ) 氏 (67歳)
タイトル 「八王子銘菓 松姫最中と徳川家康」
 プロフィール
 1947年 東京生まれ 中央大学商学部卒。
 1974年 日野市役所入所 税務、年金担当を経て、
 1998年 リサイクル推進課長に就任、それまで都内で「ゴミ量ワースト1」の日野市を立て直し、「ベスト3」へと躍進させた。
 2002年 「新選組特命主幹」日野市内の新選組史跡ガイド・講演・講座など、「新選組で町おこし」の諸活動を幅広く推進。
 2005年 「新選組のふるさと歴史館」館長に就任。
 2007年 芸術担当し任命され現在に至る。

ボランティア活動

* 老人デイサービスセンター 鍵水*
【報告】
 6月9日(火) ペーパーフラワー 14:00~15:00
 参加者: 赤羽・石井・色川・昆・下重・山中・茂木
【予定】
 7月7日(火) ペーパーフラワー 14:00~15:00
 その前に「キッチン山中」にてメネットさんとお手伝いの人達との食事会

BF報告
 6月切手 国内: 50g (長谷川) 累計: 495g
 外国: 0g 累計: 25g
 合計: 520g
 6月プルタブ 茂木 1000g 眞野 140g 累計: 1400g

今月は、新年度の始まりです。
 会費の振込をお願いいたします
 会計担当 小口 多津子
 会費振込先:
 三井住友銀行 北野支店(普通) 0720654
 東京八王子ワイズメンズクラブ

<西東京センター 主な行事予定> 7月~11月
7月
14日(水) 「第4回ボイストレーニングお試しレッスン」
 @西東京センター
 NPO 法人 日本フィジカルボイス協会理事長の玉澤明人さんをお迎えし、無料体験レッスンを実施しています。仲間作り、健康増進、余暇の充実の機会・場となりますし、みんなで気持ち良く声を出して、心も体も元気になれます。ぜひご参加ください
10月
4日(日) 「西東京ファミリーフェスティバル」
 @高尾の森わくわくビレッジ
 6つある定例野外活動毎にブースを出し、定例野外活動登録者やキャンプ参加者が家族とともにブースを回しながら、工作やクッキング、ゲームなどを楽しみます。最後は全員でキャンプファイヤー。リーダーの頑張りどファミリーの笑顔を見たいと思います。午前中にはキャンプ参加者向けのキャンプ報告会も実施しています。
11月
3日(火・祝) 「西東京センター会員の集い」@西東京センター
 西東京センター登録の東京YMCA会員を対象とした、一年に一回の活動報告会です。活動報告後は、スタッフ、ワイズ、会員、ボランティアリーダーが一同に会し、親睦会を開きます。世代を超え、立場を超え、毎年、有意義な時間を過ごしています。

今月の誕生日
 7月 20日 中塚 辰生